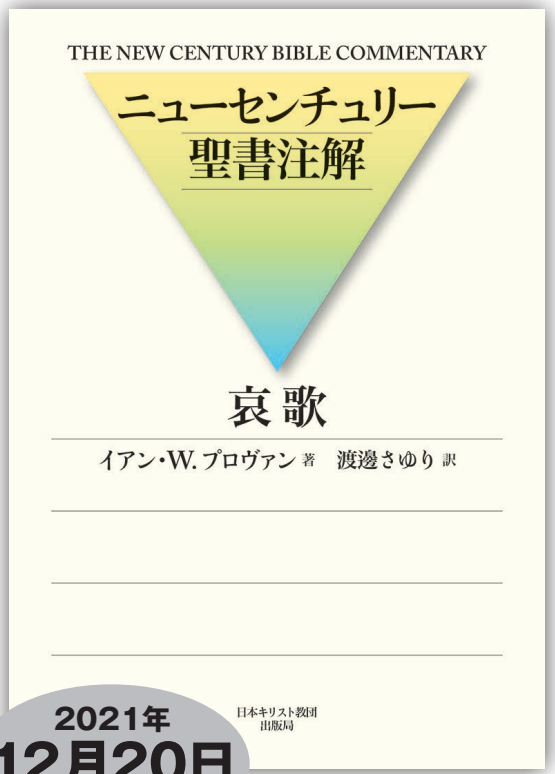
◆2021年12月の新刊　日本キリスト教団出版局

ニューセンチュリー聖書注解《最終回配本》

哀歌



2021年
12月20日
刊行予定

イアン・W. プロヴァン 著

1957年5月6日英国生まれの旧約学者。グラスゴー大、ロンドンバイブルカレッジ（現London School of Theology）卒業、1986年ケンブリッジ大にて列王記研究でPhD取得。ロンドンのキングスカレッジ、ウェールズ大、エディンバラ大を経て現在、カナダ・バンクーバーのリージェント神学大学院聖書学教授。

渡邊（わたなべ）さゆり 訳

大阪生まれ。日本バプテスト同盟神戸西伝道所、曽根キリスト教会牧師、日本バプテスト神学校教務主任を経て、現在、彰栄学園宗教主任、マイノリティ宣教センター共同主事、駒込平和教会牧師。

ヘブライ語聖書では最初の言葉から「なにゆえ」と呼ばれる、悲嘆と訴えの詩歌、哀歌。全体の構造・特徴から、作られた時代背景（エレミヤとの実際の関係）、詩に込められた神学、次々と入れ替わる話者の問題等を整理しつつ、１節ごとの詳細な語句の解説を付す。

A5判・上製・194頁・定価5,500円（本体5,000円＋税）

ISBN978-4-8184-1101-2　C1316

＊ニューセンチュリー聖書注解シリーズは『哀歌』をもって配本を終了いたします

シリーズ好評発売中

『レビ記』定価8,580円
『歴代誌 上・下』定価9,680円
『コヘレトの言葉』定価5,060円
『雅歌』定価4,840円
『イザヤ書 40-66章』定価6,820円
『マタイによる福音書』定価8,580円
『マルコによる福音書』定価8,580円
『使徒言行録』定価6,380円
『ローマの信徒への手紙』定価4,730円
『コリントの信徒への手紙 一、二』定価5,720円
『ガラテヤの信徒への手紙』定価3,960円